

## 第35回 東京大学理学部公開講演会

広報委員会

**第**35回東京大学理学部公開講演会では、「理学が照らす世界」と題してみなさんにお届けします。人間の知的好奇心によって掻き立てられた理学の研究が達成する不思議な現象の謎をとくということ。今回は化学・生物・宇宙物理学のそれぞれの分野から、その営みを感じられるような研究の一端をお伝えします。詳しくは理学部HPをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

- 開催日程：2023年3月10日（金）
- 開催時間：14：00 開始（開場13：30）
- 開催場所：東京大学本郷キャンパス理学部1号館 小柴ホールおよびオンライン開催
- 参加無料：現地会場へのご入場には事前申し込みが必要です
- 詳しくは、理学部HPをご覧ください：<https://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/event/8234/>

## 博士学位取得者一覧 |

（※）は原題が英語（和訳した題名を掲載）

種別	専攻	取得者名	論文題名
2022年12月12日付			
課程	生科	王 徳瑋	免疫チェックポイント分子PD-L1を介した細胞老化の免疫監視機構の解明（※）

## 人事異動報告 |

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2022.11.30	天文	教授	DEBATTISTA VICTOR	退職	
2022.11.30	化学	特任准教授	寺井 琢也	退職	同専攻・准教授へ
2022.12.1	化学	准教授	寺井 琢也	採用	同専攻・特任准教授から
2022.12.1	化学	特任助教	KUNAL KUMAR	採用	
2022.12.1	フォトン	特任助教	何 亜倫	採用	工学系研究科・助教から
2022.12.31	天文研	准教授	峰崎 岳夫	退職	同施設・特任教授へ
2022.12.31	地惑	助教	佐藤 雅彦	退職	同専攻・特任助教へ
2022.12.31	物理	助教	小高 裕和	退職	大阪大学・准教授へ
2022.12.31	化学	助教	XIAO TINGHUI	退職	
2022.12.31	遺伝子	助教	大野 聡	退職	東京医科歯科大学・講師へ
2022.12.31	物理	特任助教	見波 将	退職	京都大学・助教へ
2023.1.1	天文研	特任教授	峰崎 岳夫	採用	同施設・准教授から
2023.1.1	物理	助教	萩野 浩一	採用	
2023.1.1	物理	特任助教	鎌田 翔	採用	

# 東大理学部基金



限界を突破し、科学を進め、社会に貢献する。  
理学部の若手人材の育成にご支援ください。

ご支援への感謝としての特典

(1月から12月までの、1年間のご寄付の合計金額)

3,000円以上：理学部カレンダー(非売品)・クリアファイルのご送付



東京大学大学院理学系研究科長・理学部長

星野 真弘

理学系研究科・理学部の歴史は、東京大学創設の1877年(明治10年)までさかのぼり、昔も今も、自然の摂理を純粋に追及するプロフェッショナル集団として、日本のみならず、世界の理学研究・教育の中心として、多くの成果と人材を輩出しております。

理学の研究によって、われわれは自然の摂理をより深く理解し、またそこから科学技術へ応用できるシーズを得て人類社会を発展させてきました。近年、ノーベル賞を受賞した梶田隆章先生(2015年)、大隅良典先生(2016年)、真鍋淑郎博士(2021年)の研究はいずれも人類の「知」の地平を拡大する画期的な成果となり、まさに理学の神髄というべきものでした。

一方、「自然」はもっと深淵で、手ごわく、時としてわれわれの慢心や驕りに強い警鐘を鳴らします。現在、人類社会は多くの地球規模の難問、たとえば資源の枯渇、自然災害、環境破壊、気候変動などに直面しています。これらの問題の解決策についても、多様な切り口を持ち、事象を深く理解する理学への期待がさらに高まっています。理学系研究科・理学部は、これからも最先端の「知」を創造し、その期待に応えていきます。

そのためには皆様の力が必要です。理学系研究科・理学部は人類社会の持続的・平和的發展に向けて、皆様と一緒に、大いに貢献していきたいと切に願っております。皆様の力強いご支援を賜りたくお願い申し上げます。



## ご支援でできること

### 寄付の活用

新たな財源の獲得による多様化が求められるなか、東京大学では、教育研究の発展に寄与する以下の取り組みを充実させるため、安定的な寄付金の獲得を目指しています。

- ・経済的な理由による進学断念をなくす
- ・若手研究者を安定的に雇用し、研究に専念できる環境を整備する
- ・学生の海外体験を推奨し、これを支援する
- ・旧型の機器・装置を更新し、最先端の研究を進める環境を整える
- ・老朽化した施設の建て替え・補修を行う
- ・民間企業の研究者と本学の教員が共通の課題について共同研究を行う

### 共同研究

民間企業の研究者と本学の教員が共通の課題について共同して研究を行います。

### 社会連携

公共性の高い共通の課題について、企業出資のもと、講座を設置し、共同研究を行います。また、共同研究の一環として設置され、民間機関と連携し、教育研究の進展と充実を図り、人材育成をより活発化させ、学術の推進及び社会の発展に寄与いたします。

### 寄附講座

大学と企業等が協議して研究テーマを設定し、講座を立ち上げ、数年にわたり継続して講座を開設し、教育・研究を行います。

## 理学系研究科・理学部関連基金のご紹介



### Life in Green Project

「小石川植物園」と「日光植物園」を世界に誇る植物多様性の研究施設として整備し、社会に開かれた植物園へと発展させるプロジェクトです。



### マリン・フロンティア・サイエンス・プロジェクト

幅広い分野で活躍する研究者と、ビジネス・産業の専門家を三崎に結集させ、三崎の海にすむ生き物を用いた基礎研究の成果を宝石の原石として、そこから三崎ならではの革新的なビジネスと産業を創出し、「イノベーションを産む奇跡の海、世界のMISAKI」として、東大三崎臨海実験所から世界に情報発信することを目的としたプロジェクトです。



### 知の物理学研究センター支援基金

これまでの既存の物理学研究の枠を超えた新たな挑戦として、現在世界的に関心を集めている「説明可能な AI (Explainable AI = XAI)」を物理学の基礎原理に基づいて構築し、原因から結果に至る因果関係を演繹的にモデル化するなど、物理学と AI が融合する新しい学問領域の創出を目指します。



### 地球惑星の研究教育支援基金

地球・惑星・環境などを理学的に展開する基礎科学でありながら、太陽系や、生命の誕生と進化などの「夢」を追求し、環境・災害・資源などの「社会や人間の役に立つこと（貢献）」への研究をします。



### 変革を駆動する先端物理・数学プログラム (FoPM) 支援基金

FoPM は、世界トップレベルの教育研究体制の強みを活かした、専門外の分野や人類社会にもインパクトを与えられる基礎科学の専門人材を育成する修士・博士一貫プログラムです。

